

4月25日(月)

## キリストを最優先にすること

聖書朗読 マルコ7:1~23

彼らが、わたしを拜んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。 マルコ 7:7

多くの家族には、誕生日や祝日、そのほかの特別な催しにそれぞれの伝統を持っています。特別な家族の行事は家族の関係を深め、それらを通して私たちは家族への繋がりを感ずるのです。

マルコの福音書の7章では、イエス様が異なる伝統について述べられています。それは神から来るしきたりではなく、人によって作られたものです。私たちは時に、自分の意見や伝統をみことばよりも優先することがあります。長いこと伝えられてきた人間の教えを聖書の言葉と混同することもあります。

しかし、イエス様は「あなたがたは、神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っている」とおっしゃいました。そして、「あなたがたは、自分たちの言い伝えを守るために、よくも神の戒めをないがしろにしたものです」と続けられました。クリスチャンである私たちは、私たちの全ての考えをイエス様とみことばに委ねなさいとイエス様は仰っているのです。私たちは誓い、信じます。そして私たちは「すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させる」(2コリント10:5)、つまり、他のことにどんな思い入れがあったとしても、神様を最優先にして歩むことを求められているのです。

個人的、また親族の伝統は素晴らしいものです。しかし、どんな伝統も言い伝えも神のみことばの力と並ぶことはできません。

讃美歌 190

祈り 神様、あなたのみことばを自分の生活と考える全てにおいて一番の権威とすることが出来ますように。あなたの御言葉が「私の足のともしび」となりますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

リン・マクミラン

オラホマ州 オクラホマシティ

## 今日の力

2022年4月25日~5月1日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月26日(火)

## 罾

聖書朗読 マルコ12:13~27

正直な人を悪い道に迷わすものは、自分の掘った穴に陥る。しかし潔白な人たちはしあわせを継ぐ。

箴言 28:10

獵師が罾を仕掛ける時、彼らは誘惑と裏切りを使います。良い罾を仕掛けるには、その対象と罾を知ることが大切です。罾は逃げ道を与えないようしっかりとしていなくてはなりません。獵師は獲物よりもその罾を深く理解する必要があります。今日の箇所ではイエス様はパリサイ人の罾に見事に対応しました。

祭司長、律法学者、長老たちはイエス様を罾に陥れようとしていました。彼らはお世辞とイエス様の言葉の知識を使い、イエス様をパリサイ人とヘロデ党の争いに陥れようとしていました。彼らはイエス様ではなく、イエス様を陥れることに夢中になっていました。イエス様は罾を見抜き、彼らに、デナリ銀貨に描かれている肖像にカイザルが描かれていることを示し、税金をカイザルに納め、心は神に向けなさいと言われました。イエス様が彼らの心を見抜かれたので、彼らは自分たちが仕掛けた罾にはまってしまいました。

神様と、神様の目的を求めるのではなく、パリサイ人のようにイエス様を罾にかけるという自分の欲を優先してしまうことはありませんか。私たちは神様のみことばを頂いています。ですから、私たちは神様に心に向け、周りの人を神様に導くという神様の目的を果たすことが大切なのです。

讚美歌 225

祈り 父なる神様、どうか私たちがあなたと真理とを求め続けられますように。私たちにイエス様の生と死を与え、あなたに仕える道をお与えくださり、感謝いたします。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

アニタ・プライス  
テキサス州 ラボック

4月27日(水)

## 人生は公平ではない

聖書朗読 マルコ14:53~65

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

コロサイ 3:1

時に私たちは、人生は公平ではないと気づいたときびっくりすることがあります。しかし、それは驚くことではありません。イエス様は、「あなたがたは、世にあつては患難があります」(ヨハネ16:33)と言っています。イエス様は人生における困難や不平等について良くご存じです。今日の箇所では私たちが読むイエス様の患難は、この言葉が弟子たちに述べられたすぐ後に与えられました。

イエス様は3つの大きな患難を受けられました。不条理な辱めと屈辱。酷い扱いを受け痛めつけられ、とうとう十字架上で死を受けられました。どのようにして、イエス様はそれらを受け入れたのでしょうか。ペテロは、イエス様は先にある結果を思い描き、神様に信頼して行動したと述べています。ヘブル人への手紙では、イエス様は全ての結果がもたらす喜びのために、患難を受けられたと書かれています。

イエス様は私たちの手本です。イエス様の行動を通して、私たちは人生における様々な不公平な出来事を乗り越え方を学ぶことができます。神様が全ての結果を支配されています。神の子どもとして、私たちは神様が私たちの全てを支配されていることを信頼しなければなりません。私たちがどんな状況でも最善を尽くし、不公平な扱いを耐え忍ぶとき、イエス様によって私たちに与えられた喜びに目を向けることができます。神様は全ての良いこと、困難の中にも働かれ、全てを最善にされることを信じましょう。この世のなにもものも私たちが神様から引き離すことはできません。

「キリストと共に上げられる」ことは復活と同じです。復活には死が伴います。どんなに人生が不公平のように見えたとしても、自分を捨て、イエス様のために生きましょう。

讚美歌 461

祈り 神様、不公平に思えることが起こったときも、驚かず、憎むことがありませんように。イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ケン・デヴィッドソン  
アリゾナ州 パイソン

4月28日(木)

## 待て！

聖書朗読 ルカ1：8～25

ふたりとも、神の御前に正しく、主のすべての戒めと定めを落ち度もなく踏み行っていた。エリサベツは不妊の女だったので、彼らには子がなく、ふたりとももう年をとっていた。  
ルカ 1：6～7

あなたは一日中忙しく過ごしていませんか。行かなくては行けないところ、やらなくてはいけないこと。1日が短すぎると感じることもあると思います。

あなたのやることリストに「待て」を追加する余裕はあるでしょうか。

あなたが今までで一番待った経験はいつですか。きっと祈りが応えられるのを待っていた時ではないでしょうか。

エリサベツとザカリアはその「待て」の列に長いこと留まらされました。彼らは長いこと子供が与えられるよう祈っていました。結婚を誓ってから、もう何年も何年も経っていました。神様は彼らが年老いてからやっとその祈りに応えられ、特別な赤ちゃんを彼らのゆりかごに寝かせられました。その赤ちゃんこそが、イエス様の先駆者となったヨハネだったのです。彼らに赤ちゃんが与えられたのは、寸分の狂いもなく完璧なタイミングだったのです。

「待て」と言われたとき、諦めなくなるかもしれません。そんなときエリサベツとザカリアのことを思い出してください。きっとそこに答えがあるでしょう。

私たちは神を待つ必要があります、長く、じっと、嵐でも雨でも。

雷と稲妻のなか、寒く暗い時に。待て、神はいらっしゃる。

神は待たない人のもとには来られない。

—フレデリック・フェーバー

讃美歌 529

祈り 神様、あなたが「待て」と言われたとき、私たちに愛と信仰を与えてください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ケン・デヴィッドソン

アリゾナ州 パイソン

4月29日(金)

## 賢い人はどう家を建てたのか

聖書朗読 ルカ6：47～49

その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。  
ルカ 6：48

私は1年以上、会社の窓から大きな建物が建てられる様子を眺めていました。最初にたくさんのブルドーザーが良い地をならして、不要な土を運び出していました。そしてどんどん土が掘られていきましたが、まだ建物らしいものはみえません。仕事の休憩時間にはよく工事現場の周りを歩き、作業員と話しをしました。彼らは基礎と配管と電線の整備が一番大切なプロセスだと教えてくれました。それらがしっかりしていないと建物は立たず、使い物にならないのです。

建物の骨組みができると、実際の建物は思ったよりも速く組み立てが進みました。完成してすぐ大雨が降りましたが、建物はしっかりと建っていました。

賢い人が岩の上に家を建ててという歌をご存知の方も多いと思います。よりその歌の意味を深く理解できる気がします。私たちは実際に大きな建物を建てているわけではありませんが、私たちの人生を、家族を、キャリアを、教会を、社会を建て上げています。このような大切なものを、神様の知恵というしっかりとした土台の上に建てましょう。

讃美歌 284

祈り 神様、私たちの人生において、あなたを中心に置いた基礎を作ることの大切さを覚えつけられますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

スーザン・K・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

4月30日(土)

## 最も価値あるもの

聖書朗読 ルカ9:23~27

天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。                      マタイ 13:44

私たちは、車やソファを買うときにどれくらい長持ちするのか考えるかと思えます。何年使えるものなのかということが多くの場合、価値を決めます。私たちは長持ちするものには、お金をかけ、時には犠牲を払うこともあります。

イエスは弟子たちに、私について来ることは決して楽なことではないが、どんな犠牲にも勝る価値があると言われました。彼らは自分達の安全、快適な暮らし、願いを全て犠牲にして、人生を神様と人のために生きることを決めました。イエス様はその選択の価値をご存知でしたが、他の選択肢はないこともご存知でした。

弟子たちがした決断によって、彼らがどう周りの人からみられたのか想像することは難しいことではありません。イエス様を十字架まで従うのには相当な恐怖と不安があったことでしょう。しかし、イエス様の復活を見たとき弟子たちの希望は新たにされました。

価値があるものだと分かれば、高い対価を払うことにためらうことは無いでしょう。イエス様との永遠の関係ほど、対価を払う価値あるものはありません。

讃美歌 224

祈り 神様、私たちを、十字架を背負いあなたに従うよう呼んでくださりありがとうございます。あなたの栄光のために私たちを強めてください。  
イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ランディー・ロバート  
ニューメキシコ州 グランツ

5月1日(日)

## 私たちは何を見たでしょう？

聖書朗読 ルカ10:16~24

エルサレムに近くなったころ、都を見られたイエスは、その都のために泣いて、言われた。「おまえも、もし、この日のうちに、平和のことを知っていたのなら。」  
ルカ 19:41~42

イエス様に遣わされた70人弟子たちは、意気揚々とイエス様のもとに戻ってきました。彼らは自分たちに与えられた悪霊を追い出す力を見て興奮していました。彼らはそれまで悪霊に苦しめられていましたが、新しい力を与えられたことによって、今や悪霊はイエス様の名前の前にへつらうようになったのです。「主よ。あなたの御名を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します。」イエス様はすべて見通され、「わたしが見ていると、サタンが、いなづまのように天から落ちました。」と言われました。そして、彼らはイエス様が悪に対して命令をされる様子を何度も見ました。

全ての人が、弟子たちに起こった変化に気づいたわけではありませんでした。一部の人は弟子たちの奇跡をただのマジックだと思ったかもしれませんし、弟子たちに妄想をするのはやめなさいと言った人もいました。しかし、イエス様は彼らが経験したことの重要性をご存知だったので、彼らを祝福し「多くの預言者や王たちがあなたがたのしていることを見たいと願ったのに、見られなかったのです」と言われました。

弟子たちは、預言者や王たちが見たいと思っていたメシアであるイエス様を目の前で見ることができました。ここで最も大事なことは、弟子たちがすばらしい奇跡を行なったのではなく、神の国を見ていくことであり、神様との関係を築き、自分を神様に全て捧げてお仕えることです。このすばらしい弟子たちの奇跡を喜ぶ以上に、主との関係を持ち、主だけを見詰め続けることなのです。

讃美歌 162

祈り 天の父なる神様、70人の弟子たちのように私たちが悪の力に立ち向かえるように、混乱の中で真実を見つける目を与えてください。私たちが御国を見据えられるよう助けてください。私たちが信仰に生き、その時が来ることを信じられますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ブルース・W・ローグ  
カリフォルニア州 マーセド